

平成 17 年 12 月 14 日

各 位

会 社 名 ス リ ー プ ロ 株 式 会 社  
本 社 所 在 地 東 京 都 新 宿 区 西 新 宿 七 丁 目 21 番 3 号  
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 高 野 研  
(コード番号 2375 東証マザーズ)  
問 い 合 せ 先 管 理 部 長 田 野 大 地  
(TEL 03-6832-3260)

## 会社分割による持株会社への移行及び商号変更のお知らせ

平成 17 年 12 月 14 日開催の当社取締役会において、当社は平成 18 年 5 月 1 日を期して、下記のとおり当社の事業部門を分割し、当社の全事業を新設するスリープロ株式会社に承継することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

本分割後、当社は商号を「スリープログループ株式会社」へと変更し、引き続き上場会社となる予定であります。

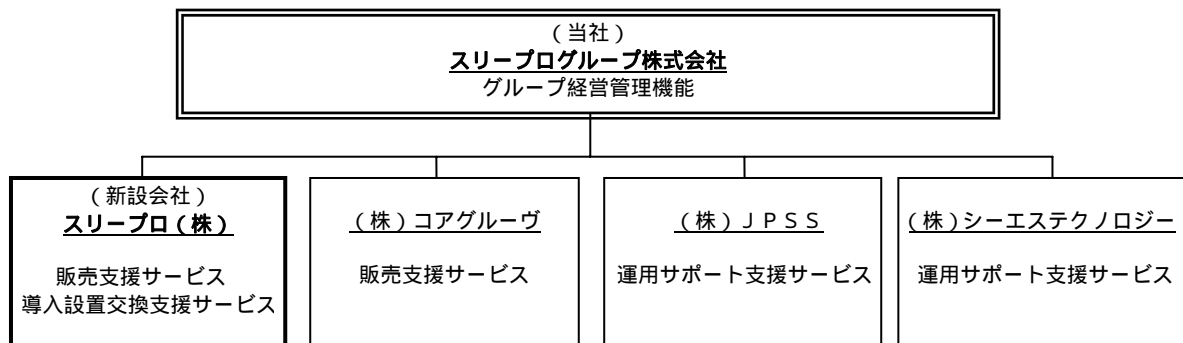
### 記

#### 1. 会社分割の目的

当社は、創業 10 年を迎え、スリープログループ全体の更なる発展のため、平成 17 年 12 月 14 日開催の取締役会において、持株会社制への移行を決議いたしました。1995 年創業時の個人向け出張サポートという単一のサービスを提供する会社から、現在では IT 関連製品を中心として、販売から設置後のサポートまで一貫したサービスを提供する「IT ビジネスのパートナーカンパニー」へと成長して参りました。持株会社体制への移行により、これまで提供して参りました「販売」「導入・設置・交換」「サポート・運用」の支援サービス毎にグループ各社の再編成をすすめ、従来サービスの高付加価値化と機動的な販売体制の確立を図ります。また、今後は IT 関連にとどまらず、企画・開発からリサイクルまでの一貫したサービスを提供できる専門性の高いアウトソーサーとして、事業提携や M & A 等の積極的経営戦略を迅速に実行するため、持株会社体制を最大限に活用して参る所存であります。

持株会社体制への移行につきましては、平成 18 年 5 月 1 日に当社が「スリープログループ株式会社」と商号変更したうえで、会社分割（分社型新設分割）の方法により、100%子会社である「スリープロ株式会社」を新設し、当社の事業部門（販売支援サービス部門、導入・設置・交換支援サービス部門、サポート・運用支援サービス部門）の全事業を承継させるものであります。

#### 【分割後のグループ体制】



#### 2. 会社分割の要旨

##### (1) 分割の日程

分割計画書承認取締役会	平成 17 年 12 月 14 日
分割計画書承認株主総会	平成 18 年 1 月 27 日
分割期日	平成 18 年 5 月 1 日予定
分割登記	平成 18 年 5 月 1 日予定

## (2) 分割方式

### 1. 分割方式

当社を分割会社とし、新設するスリープロ株式会社（以下、「新設会社」という）に事業を承継させる分社型新設分割（物的分割）です。

### 2. 当分割方式を採用した理由

純粹持株会社に移行できる分社型新設分割といたしました。

## (3) 株式の割当

### 1. 株式割当て比率

新設会社は設立時に株式 2,000 株を発行し、その全株式を当社に割当て交付する。

### 2. 株式割当て比率の算定根拠

新設会社は当社の完全子会社であり、また本分割は上記（2）1. のとおり物的分割であるので、割当てられる株式の数にかかわらず当社の純資産額に変動はありません。このため、当社株主は直接影響を受けないことから、その全てを当社に割り当てることといたします。

### 3. 第三者機関による算定結果、算定方法及び算定根拠

上記 2. の理由により第三者機関による算定は行いません。

## (4) 分割交付金

分割交付金の支払いはございません。

## (5) 承継会社が承継する権利義務

新設会社は、分割期日における当社の営業に関する一切の資産、負債及びこれらに付随する権利義務を承継いたします。ただし、本件分割に係る平成 17 年 12 月 14 日付分割計画書において別段の定めがあるものを除きます。

## (6) 債務履行の見込み

### 1. 当社の負担すべき債務の履行について

会社分割後の当社の予想貸借対照表における資産の額は約 1,430 百万円、負債の額は約 400 百万円であり、資産の額が負債の額を上回ることが見込まれます。また、会社分割後の当社の事業活動において、負担すべき債務の履行に支障を及ぼす事象の発生は現在のところ予想されておられません。

従って、会社分割後も当社の負担すべき債務につき、履行の見込みがあるものと判断いたしております。

### 2. 新設会社（スリープロ株式会社）の負担すべき債務の履行について

会社分割後の新設会社の予想貸借対照表における資産の額は約 895 百万円、負債の額は約 695 百万円であり、資産の額が負債の額を上回ることが見込まれます。また、会社分割後の新設会社の事業活動において、負担すべき債務の履行に支障を及ぼす事象の発生は現在のところ予想されておられません。

従って、会社分割後も新設会社の負担すべき債務につき、履行の見込みがあるものと判断いたしております。

## (7) 承継会社に新たに就任する役員

### 1. 取締役

高野研、水口雄、落合雅之、熊坂尚夫、弘田和之、柏原季弘 以上 6 名

### 2. 監査役

木村公一 以上 1 名

### 3. 分割当事会社の概要

(1) 商号	スリープログループ株式会社 (分割会社) (平成17年10月31日現在)	スリープロ株式会社 (承継会社) (平成18年5月1日予定)
(2) 事業内容	IT関連サポートサービス事業 子会社の経営管理	IT関連サポートサービス事業
(3) 設立(創業)年月	平成8年4月	平成18年5月
(4) 本店所在地	東京都新宿区西新宿七丁目21番3号	東京都新宿区西新宿七丁目21番3号
(5) 代表者	高野 研	高野 研
(6) 資本金	832,119,050円	100,000,000円
(7) 発行済株式総数	1,643,285株	2,000株
(8) 株主資本	1,090,628千円	200,000千円
(9) 総資産	2,586,163千円	895,000千円
(10) 決算期	10月31日	10月31日
(11) 従業員数	69名	46名
(12) 主要取引先	通信キャリア 家電量販店各社 デジタル機器メーカー各社	通信キャリア 家電量販店各社 デジタル機器メーカー各社
(13) 大株主及び持株比率	高野 研 15.54% トランス・コスモス株式会社 12.53% 株式会社フルキャスト 9.13%	スリープログループ株式会社 100.00%
(14) 主要取引銀行	三井住友銀行 UFJ銀行 みずほ銀行	三井住友銀行 UFJ銀行 みずほ銀行
(15) 当事会社の関係	資本関係	当社は、新設会社の発行済株式総数の100%を保有します。
	人的関係	当社代表取締役高野研は新設会社の代表取締役を兼務いたします。
	取引関係	新設会社に経営指導をいたします。また、新設会社の資産の一部を利用する予定であります。

### (16) 当社(分割会社)の最近3決算期間の業績

決 算 期	平成15年10月期	平成16年10月期	平成17年10月期
売 上 高	2,349百万円	2,604百万円	3,104百万円
営 業 利 益	164百万円	157百万円	12百万円
経 常 利 益	141百万円	151百万円	9百万円
当 期 純 利 益	116百万円	98百万円	61百万円
1株当たり当期純利益	128.39円	72.11円	40.01円
1株当たり配当金	-	15.0円	10.0円
1株当たり株主資本	694.82円	698.38円	760.28円

4. 分割する事業部門の内容

(1) 分割する事業部門の平成 17 年 10 月期における経営成績

	分割事業部門(a)	当社 17 年 10 月期実績(b)	比率(a / b)
売上高	3,104 百万円	3,104 百万円	100%
営業利益	222 百万円	12 百万円	- %
経常利益	222 百万円	9 百万円	- %

(2) 譲渡資産、負債の項目および金額(平成 17 年 10 月 31 日現在)

資 産		負 債	
項 目	帳簿価額	項 目	帳簿価額
流動資産	854 百万円	流動負債	695 百万円
固定資産	41 百万円	固定負債	0 百万円
合 計	895 百万円	合 計	695 百万円

(注) 新設会社が当社から承継する資産、負債の項目及び金額は、平成 17 年 10 月 31 日現在の貸借対照表上の数値を基準としております。従って、分割によって実際に承継する金額は、これらと異なる可能性があります。

5. 分割後の当社の状況

- (1) 商 号 スリープログループ株式会社
- (2) 事業内容 グループ全体の経営管理
- (3) 本店所在地 東京都新宿区西新宿七丁目 21 番 3 号
- (4) 代表者 高野 研
- (5) 資本金 資本金 832,119,050 円
- (6) 総資産 1,430 百万円
- (7) 決算期 10 月 31 日
- (8) 業績に与える影響

本件会社分割は、当社が新設会社の株式を 100%取得する分社型新設分割であるため、連結業績に与える影響はありません。

尚、個別業績につきましては、当社は純粋持株会社となるため、収入は子会社からの経営指導料収入及び配当収入が主なものとなる予定であります。

分割後の業績見通し

	平成 18 年 10 月期
売上高	1,530 百万円
経常利益	60 百万円
当期純利益	30 百万円
1 株当たり年間配当金	10 円

分割後の連結業績見通し

	平成 18 年 10 月期
連結売上高	6,000 百万円
連結経常利益	150 百万円
連結当期純利益	70 百万円

以 上